

令和6年 第2回定例市議会

教 育 行 政 報 告

恵庭市教育委員会

第2回定例会が開催されるに当たりまして、令和6年第1回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

小中学校の入学式について	はじめに、小中学校の入学式について申し上げます。 新型コロナウイルスが「5類感染症」に移行となり、5年ぶりに多くの来賓を迎えた制限のない入学式が実施され、小学生574名、中学生614名の新1年生が入学し、希望を胸に新たな学校生活をスタートしたところであります。
学校訪問について	次に、学校訪問について申し上げます。 5月22日から6月5日にかけて、教育委員と教育委員会事務局が全ての小中学校を訪問し、学校教育基本方針に基づいて各学校の取り組みについて確認を行うなど、学校経営における課題の共有化を図ったところであります。
全国学力・学習状況調査について	次に、全国学力・学習状況調査について申し上げます。 全国学力・学習状況調査は、小学校6年生が国語及び算数の2科目、中学校3年生は、国語及び数学の2科目について、4月18日に実施されたところであります。 今後は、国の調査結果や各学校の採点結果を踏まえ、その結果を検証しながら、学力向上に向けた取組みを推進して参ります。
デジタルドリルの導入について	次に、デジタルドリルの導入について申し上げます。 学校教育におけるICT活用推進の一環として4月から市内小・中学校全校にデジタルドリルを導入したところであります。 デジタルドリルの導入により、ひとり一人の学習状況に合わせたきめ細やかな指導につながるものと期待しており、今後においてはデジタル

学校給食について

ドリルの活用状況や効果の検証に取り組んで参ります。

次に、学校給食について申し上げます。

本年度も4月9日より、また、新小学1年生は4月23日より学校給食の提供を開始いたしました。

学校給食の提供につきましては、異物混入や食物アレルギー対応に注意しながら、「安全・安心」で児童生徒に喜ばれる学校給食の提供に努めて参ります。

小中学校冷房設置について

次に、小中学校の冷房設置について申し上げます。

小中全13校において、保健室と任意の一室の冷房設置工事が完了いたしました。

スポットクーラーにつきましては、小学校に1年生から4年生が在籍する教室及び特別活動室分の128台を導入しております。

5年生から6年生が在籍する教室及び特別活動室分のスポットクーラー60台につきましても7月中の導入を予定しております。

今後は、令和9年度の夏季までに市内すべての小中学校への冷房設置工事が完了するよう、設計、工事を進めて参ります。

地域学校協働活動の推進について

次に、地域学校協働活動の推進について申し上げます。

地域学校協働活動の推進のため、今年4月から学校と地域住民をつなぐ地域学校協働活動推進員を1校に配置しました。

これからも、地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者等の参画により、地域全体で子どもたちの成長を支えるしくみづくりを進めて参ります。

部活動の地域移行
について

次に、部活動の地域移行について申し上げます。

部活動の地域移行を目指し、検討を進めているところでありますが、運動部活動における地域移行に係る人材発掘・人材育成促進事業として恵庭市スポーツ協会に委託し、運動部活動の地域の担い手の人材バンクの構築を進めて参ります。

文化芸術活動の推
進について

次に、文化芸術活動の推進について申し上げます。

市民との協働による文化芸術活動を推進するため、市内で文化芸術活動をしている方や関心のある方などをお招きし、恵庭市文化を語る会を3月21日と25日に夢創館で開催しました。

それぞれ、4人の方々に会に参加していただき、恵庭市の文化芸術の未来や課題などについて意見交換を行いました。

長寿大学について

次に、長寿大学について申し上げます。

63歳以上の市民を対象に、生涯学習社会・長寿社会にふさわしい学習機会を提供し、高齢者の生きがいづくりと社会参加への促進をねらいとして、4月10日に22名の新入生と8名の大学院進級生をお迎えし、入学式並びに始業式を挙行了したところであります。

本市の特色である「読書」や「花」などについて学ぶ「まちづくり科目」など、市民ニーズに応じた講座を開設し、「次世代につなぐ人づくり、地域(まち)づくり」を進めて参ります。

市民講座について

次に、市民講座について申し上げます。

市民の教養や生活技術の習得を通して学ぶ喜びと生活に潤いをもち、豊かな人間性を培うことを目的として、年間を通して講座を開設する市民講座は、12講座に約163名の参加者により受講を開始したところであります。

	今後も市民のニーズに応じた学習機会の提供に努めて参ります。
少年の主張について	次に、少年の主張について申し上げます。 青少年が自分の考えを正しく伝える力を身に付け、コミュニケーション能力の向上と自我形成の助長を目的として、5月21日に恵み野中学校において、「恵庭市少年の主張中学校大会」を開催したところであります。 最優秀賞受賞者1名が、7月16日開催の「少年の主張石狩地区大会」に出場することになっており、大会での活躍が期待されるところであります。
読書活動の推進について	次に、読書活動の推進について申し上げます。 子ども読書の日記念事業として、図書館では4月9日から5月6日まで、親子のためのパペットシアターや子ども映画会、推薦図書の展示「この本読んだ？2024」などの事業を行い、子どものための読書の取り組みを行ったところであります。
郷土資料館事業について	次に、郷土資料館事業について申し上げます。 郷土資料館では、企画展として、3月16日から3月31日にかけて昭和の風景を題材に恵庭市出身の作家さんが丹精込めて作られた人形を展示する「緋世（ひよ）創作人形展」を開催いたしました。 さらに、ゴールデンウィーク期間中には、「昔の道具体験コーナー」を設け、来館者に昔の生活を体験していただいております。
埋蔵文化財関連事業について	最後に、埋蔵文化財関連事業について申し上げます。 埋蔵文化財保護と史跡整備への理解を深める事業として、4月20日第1回「カリンバ土曜講座」を開催し、27名の方に参加をいただきました。

した。

また、5月26日には千歳市埋蔵文化財センターと恵庭市郷土資料館の合同企画として、ウォーキングをしながら専門職員が周辺の遺跡群について解説を行う「千歳・恵庭の遺跡を歩こう」を開催し、多くの方々にご参加をいただきました。

さらに、6月8日には、講師の方をお招きし、「北海道の縄文・続縄文社会とカリンバ遺跡」を題材に「カリンバ講演会」を開催し、多くの皆様にご参加をいただいております。

最後になりますが、3月15日に国の文化審議会から文部科学大臣に対し、「西島松5遺跡出土品」を重要文化財に指定することについて答申がなされております。

今後正式に指定されますと、恵庭市では「カリンバ遺跡墓坑出土品」に次いで二つ目の重要文化財が誕生することとなり、大変喜ばしいことと受け止めているところであります。

以上、令和6年第1回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。